

Responsible Care 2022

レスポンシブル・ケア報告書



関西熱化学株式会社
Kansai Coke and Chemicals Co.,Ltd.

「レスポンシブル・ケア (RC) 報告書2022」発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大から2年以上が経過しましたが、ウイルスは変異を繰り返しながら増殖を続け、その勢いは衰えることなく、未だ終息の見通しは立っていません。その結果、世界規模で発生していた原材料や商品などの供給不足に、今年はロシアによるウクライナ侵攻によるエネルギー危機も加わり、世界経済は不透明さを増しています。

このような情勢下においても、関西熱化学グループでは、「人を財とし、自然を財とし、新たな価値を創造する」との経営理念のもと、お客様や従業員、そしてご家族の皆様の安全と健康を守るという人間尊重の理念を第一に、事業活動を継続することで、社会への貢献に努めてまいりました。

製品のすべてのライフサイクルにおいて、健康・安全・環境に配慮し、自主的に環境安全対策の実行・改善をはかっていくというRC活動に、関西熱化学グループが取り組みを開始して、昨年で20周年を迎えました。2001年10月の活動開始に際して制定した「環境・安全・品質に関する基本方針」では、「環境・安全」の確保を企業存立の必須条件とし、「無事故・無災害」の操業を継続することによって、従業員と地域社会の安全を確保し、さらに、製品の開発から廃棄に至るまで、製品の全ライフサイクルにおいて、環境の保護および製品の安全に配慮することを謳っています。

この基本方針のもと、関西熱化学グループは、コークス製造技術を中心に、炭素材・生活環境製品・飲料水・電力などの製造・販売に加えて、住宅賃貸・飲食施設・精密洗浄・分析などの各種サービスの提供を通じ、社会貢献という責務を果たしてまいりました。

今後も、中期計画スローガン「Go Forward 25 明るく元気に 前向きに」のもと、ステークホルダーの皆様から信頼される、人にやさしい、地球にやさしい、そして進化する企業集団を目指してまいります。

本レポートは、RC活動を中心に関西熱化学グループの様々な活動についてご紹介しています。本レポートを通じて、当社グループの考え方や取り組みをご理解いただければ幸いです。引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご安全に

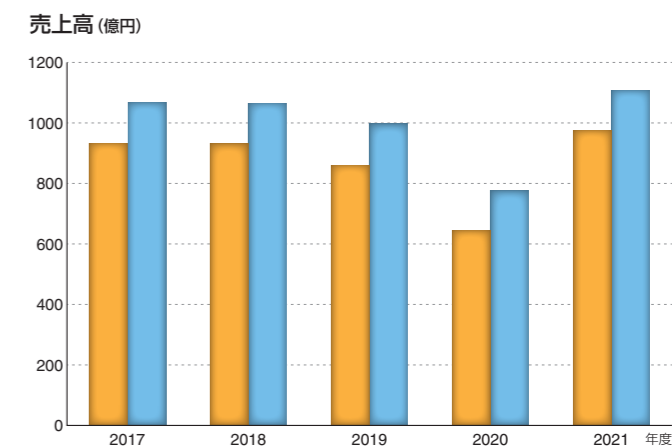
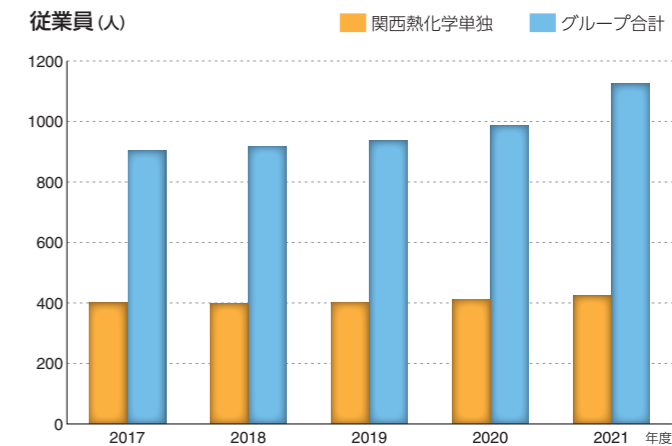


2022年10月
関西熱化学株式会社
取締役社長

小林 英信

関西熱化学株式会社
Kansai Coke and Chemicals Co.,Ltd.

本社 兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号
代表者 取締役社長 小林 英信 (こばやし ひでのぶ)
設立 1956年(昭和31年)8月1日
資本金 60億円
事業内容 製鉄用コークスの製造販売
ガス、コールトールなどの化成品の製造販売 ほか
事業所 尼崎事業所
兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地
加古川工場
兵庫県加古川市金沢町7番地
研究開発センター
兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地
グループ会社 株式会社MCエパテック
大阪化成株式会社
尼崎ユーティリティサービス株式会社
ホームページ <https://www.tkcc.co.jp/>



関西熱化学グループ経営理念

「人を財とし、自然を財とし、新たな価値を創造する」

人を財とし

関わる全ての「人」を財産として考え、行動します。

自然を財とし

「自然」を財産として考え、地球環境の保護、限りある資源の有効活用のため、行動します。

新たな価値を創造する

「人」「自然」の融合から、新たな価値創造へ向け、挑戦し続けます。

基本理念

「安全なくして経営なし」



Heart to Evolve

新たな進化を目指して

目次	ページ	ページ	
ごあいさつ	1	安全への取組み	11
会社概要	2	品質・化学品安全への取組み	13
RC基本方針・RC推進体制	3	コンプライアンスへの取組み	14
2021年度RC活動目標と実績	3	情報セキュリティへの取組み	15
RC活動トピックス	4	リスク管理の取組み	16
特集「関西熱化学グループ レスポンシブルケア活動20年の歩み」	5	社会とのコミュニケーション	17
環境への取組み	7	グループ会社のRC活動への取組み	19

対象期間／対象範囲

この報告書は2022年版として、2021年4月1日から2022年3月31日までの関西熱化学および関西熱化学グループのRC活動に関する活動実績に基づいて作成しました。

RC基本方針・RC推進体制

関西熱化学グループでは、RC活動を経営の最も重要な柱の一つと位置付け、RC基本方針のもとにRC推進体制を構築し、グループ全体でRC活動に取り組んでいます。

RC基本方針

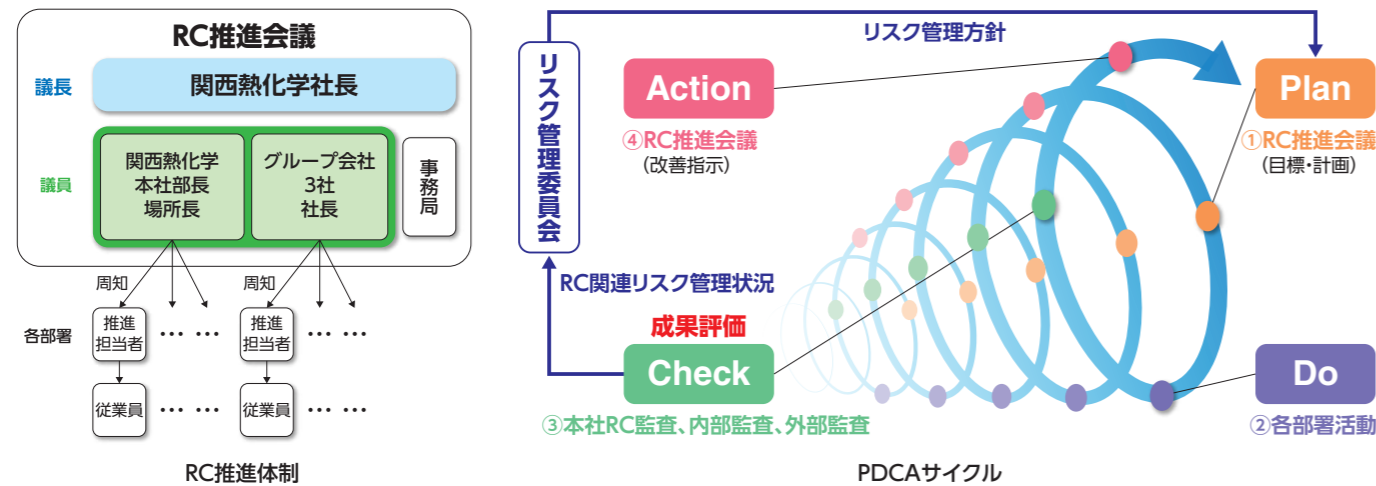
関西熱化学グループでは、環境・安全・品質に関する基本方針を制定しています。

- 「環境・安全」の確保を、企業存立の必須要件として事業活動を行う。
- 無事故・無災害の操業を続けることにより、従業員と地域社会の安全を確保する。
- 製品の開発から廃棄に至るまで、製品の全ライフサイクルにおいて、環境の保護および製品の安全に配慮する。
- お客様が満足し、かつ、安心して使用できる製品・サービスを提供する。
- 法令等の遵守はもとより、この基本方針の重要性を認識し、自らの責任を自覚した行動に努め、社会からの信頼向上を図る。

RC推進体制

関西熱化学およびグループ会社の代表から組織されるRC推進会議において、環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品安全・製品品質に関する基本事項を定め、グループ

全体のRC活動を統括します。グループ全体でPDCAサイクルを循環させ、レベル向上を図りながらRC活動に取り組んでいます。



2021年度RC活動目標と実績

毎年、『全社RC活動方針』とともに、環境・保安防災・安全・品質に関する目標を定めて活動しています。

2021年度RC活動目標と実績

項目	目標	実績
環境	環境重大トラブルゼロ	目標達成
保安防災	保安事故ゼロ	保安事故1件
安全	労働災害ゼロ	休業労災1件、不休業労災1件
品質	品質大クレーム以上ゼロ	品質大クレーム1件

RC (Responsible Care) とは

私たちの身の回りには、化学製品がたくさんあります。化学製品は、自動車、家電、衣料品、スポーツ用品、化粧品などの最終製品の材料として、また、製造工程における反応剤、触媒等として、私たちの暮らしを豊かで快適なものにする役割を果たしています。しかし、時としてその扱いを誤ると、人体や環境を脅かす有害な物質として作用することがあります。こうした背景を踏まえて、それぞれの企業が製品の開発から製造、物流、使用、最終消費、廃棄に至るすべての過程において、法律を守るとともに、それ以上の自発的行動でリスクを回避し、社会に応えていくことが必要です。「レスポンシブル・ケア (RC)」とは、「環境保全」、「保安防災」、「労働安全衛生」、「化学品・製品安全」について、企業が自主的に取り組み、社会からの信頼を深めていくことを目指す活動を指します。

RC活動トピックス

関西熱化学グループでは、グループ内の各部署でのRC活動をより活発で有効な活動とするために様々な取り組みを行っています。

RC大会

職場のRC活動の活性化、レベル向上を目的に、「第16回関西熱化学グループRC大会発表会」を11月に開催し、

安全・環境・品質などについて、「改善の手順」に沿った職場の改善活動事例が発表されました。



第16回 関西熱化学グループRC大会



最優秀賞 加古川工場製造部 コークス課

【最優秀賞 加古川工場製造部 コークス課】

コークスシクナーの水質向上に向けて、助剤タンク、三角槽、スラッジポンプ、クラリファイヤーに対する改善をおこない、循環水の透明度を大幅に向上させた。

RC大会発表事例

表彰	活動名称	発表部署
最優秀賞	コークスシクナーの水質安定化	関西熱化学 加古川工場 製造部 コークス課
優秀賞	石炭搬送ラインの清掃作業低減	関西熱化学 加古川工場 製造部 原料課
優良賞	スポット業者の4RKY合格率の向上	加古川工場安全衛生協力会 三協株式会社
奨励賞	作業のしやすい環境作り	(株)MCエパテック 加古川事業所 製造部 製造課
	危険物及び備品の管理方法の見直し	(株)MCエパテック 分析事業部 つくば分析センター
	実験のロス時間削減	関西熱化学 研究開発センター 基盤技術グループ
	M社洗浄品に関するムダ時間の削減	(株)MCエパテック 尼崎事業所 製造部 精洗2課
	マルカサイドV-1 仕込み方法の合理化	大阪化成(株) 製造本部 製造部
	軟水製造装置 硬度リーク発生件数の削減	尼崎ユーティリティサービス(株) 製造部

RCパトロール

RC推進会議議長（関西熱化学社長）によるRCパトロールを全国安全週間にあわせて実施しています。2021年度は、7月1日から16日にかけて、各場所のRC活動状況の確認および巡回・激励によるRC活動のレベルアップを目的にRCパトロールを行いました。

パトロール後には、小林議長より「各職場で働く皆さん一人ひとりが、『自分や職場の仲間の安全を守るために何が必要か』考えて、「明るく・元気に・前向きに」活動することを願います」とのメッセージが寄せられました。



大阪茨木

RC監査

関西熱化学CSR推進部によるRC監査を実施しています。RC監査は、グループ内各部署のRC活動実施状況を点検し、

活動の改善点を見出すことを目的としています。2021年度は、8部署の監査を実施しました。



関西熱化学グループレスポンシブル ケア活動20年の歩み

関西熱化学グループは、レスポンシブル・ケア(RC)活動に2001年10月の実施宣言以降積極的に取り組んできました。20年の節目となる2021年10月までの関西熱化学グループのRC活動の歩みを紹介します。

RC基本方針作成

RC推進会議発足

2001年10月

RC活動実施宣言



宣言文に署名(2001年10月)



実施宣言

2006年

RC大会

各職場のRC活動の活性化とモチベーションの向上を図るために小集団活動発表会を開始。

2004年

RCパトロール

関西熱化学社長(RC推進会議議長)によるRC活動状況の確認と現場巡回・激励のために開始。

2003年

環境講演会

6月の環境月間にあわせて、従業員の環境に対する意識啓発のために開始。

衛生講演会

10月の全国労働衛生週間にあわせて、従業員の健康管理に対する意識啓発のために開始。



2003年度 衛生講演会

世界のRC活動の歴史

1984	1985	1990	1995	2005	2012
1984年	インド・ボパール化学工場事故発生				
	1985年	カナダでRC誕生(カナダ化学工業協会)			
		1990年	国際化学工業協会 設立		
		1990年	環境・安全に関わる日本化学工業協会基本方針 策定		
		1995年	日本RC協議会 設立		
			2005年	RC世界憲章 策定	
				2012年	日本RC協議会が日本化学工業協会に統合



2016年度 RCパトロール(MCエバテック)

2020年

RC大会表彰制度開始

小集団活動の更なる活性化のために表彰制度を開始。



2020年度 RC大会

2021年10月

レスポンシブル・ケア活動実施20年

2002年

RC監査

関西熱化学グループ各部署のRC活動状況を確認し、必要な指導・助言を行うために開始。

ISO研修

ISOに対する理解を深め、ISO内部監査員を養成するために開始。

2003年

RCLレポート発刊

RC活動結果を広く社会へ周知するために発刊。



2002年度 ISO研修



2014年度 RC監査

2019年

ISO研修

内部監査をより有効にするために内部監査員リーダー養成研修を開始。



2019年度 ISO研修

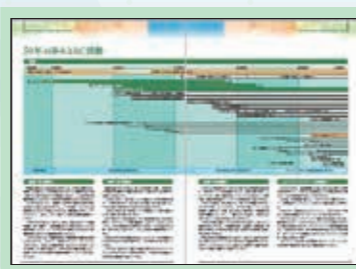
RCLレポート



2003年度 RCLレポート表紙(創刊号)



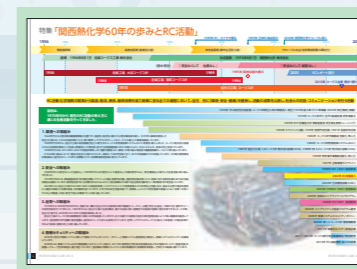
2007年度 RCLレポート表紙と特集記事(創立から50年間の歴史とRC活動)



2012年度 RCLレポート表紙(RC活動10年)



2016年度 RCLレポート表紙と特集記事(創立から60年間の歴史とRC活動)



RC活動全社統括部署

技術開発部

RC推進部

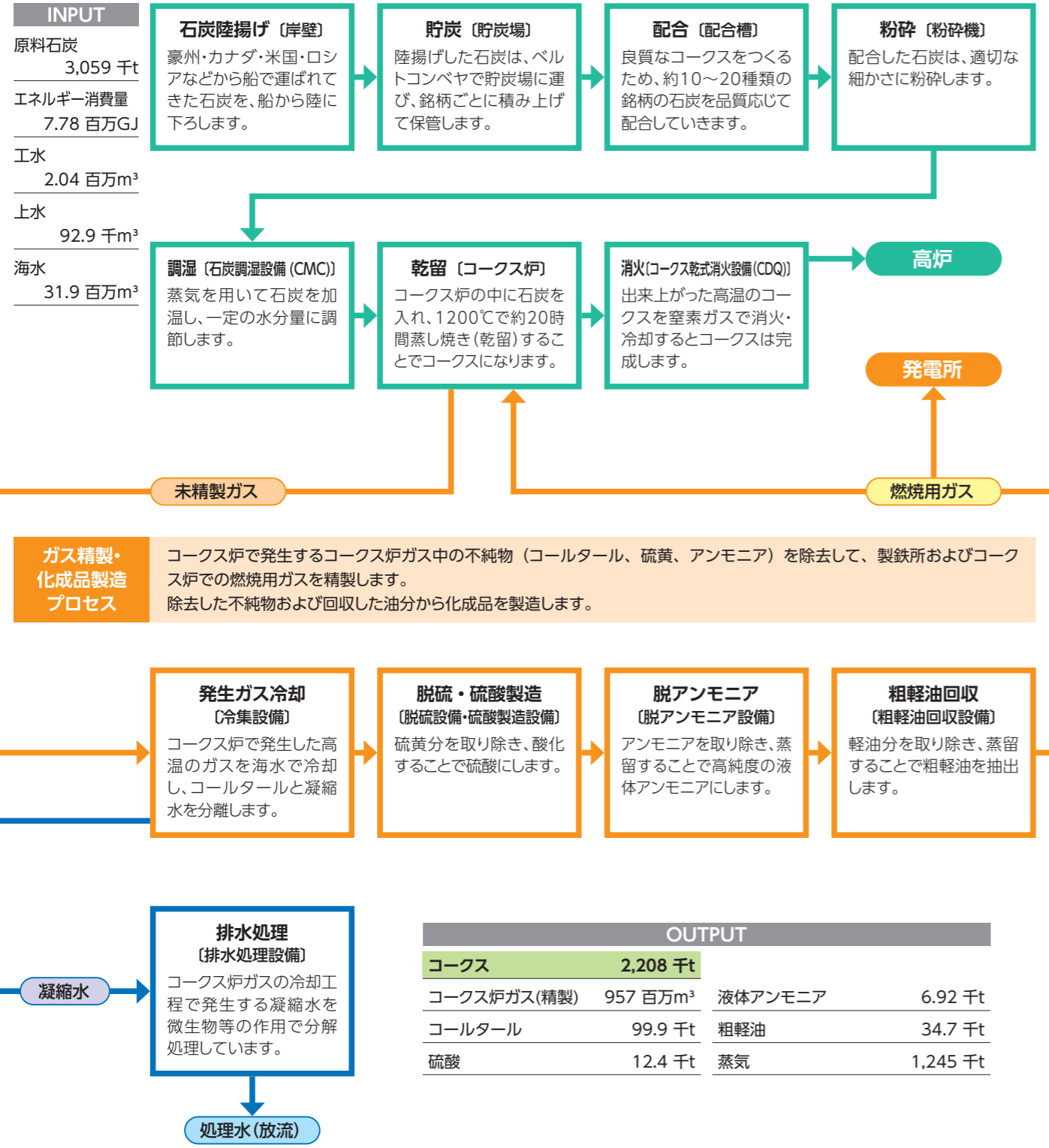
2007年

CSR推進部

環境への取り組み（関西熱化学加古川工場プロセスフローと環境保全活動）

コークス製造プロセス

石炭を配合、粉砕し、水分量を調節した後に、蒸し焼きにしてコークスを製造します。環境対策、安全対策に取り組むと同時に高品質のコークスづくりに努めています。



OUTPUT			
コークス	2,208 千t		
コークス炉ガス(精製)	957 百万m ³	液体アンモニア	6.92 千t
コールタール	99.9 千t	粗軽油	34.7 千t
硫酸	12.4 千t	蒸気	1,245 千t

環境関連項目

(大気質)	(水質)	(廃棄物)
SOx 304 t	排水..... 2.48 百万m ³	外部最終埋立処分量..... 121 t
NOx 1,609 t	COD 127 t	※非建設系
CO ₂ 523 千t	PRTR物質 1.20 t	
PRTR物質 9.79 t		

大気環境保全への取り組み

「窯口集じん機」で、コークスをコークス炉から押出すときに発生する粉じんを回収し、粉じん飛散を抑制しています。



大気環境保全への取り組み

「脱硫設備・脱アンモニア設備」で、コークス炉で発生したガスから不純物を除去してクリーンな燃料ガスにします。燃焼排ガス中のNOx、SOx等を低減しています。



水環境保全への取り組み

活性汚泥処理設備の中の「活性炭吸着設備」で、活性汚泥で分解処理が難しい有機物を活性炭にて吸着除去し、排水中のCODを低減しています。



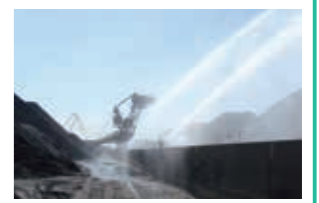
水環境保全への取り組み

「貯炭場排水処理設備」で、製造プロセスからの排水中に含まれる石炭微粒子を除去し、「循環水」として構内の粉じん防止対策に再利用しています。



大気環境保全への取り組み

構内の循環水を使って石炭の山へレインガンで散水し、粉じん飛散を抑制しています。



「散水車」で、貯炭場をはじめ各施設、道路からの粉じん飛散を抑制するために工場内湿潤化を行っています。



大気環境保全への取り組み

コークス炉には「煙道集じん機」が、2台設置されています。「煙道集じん機」で、燃焼排ガスに含まれるばいじんを除去しています。



地球温暖化抑制への取り組み

「コークス操業コントロールセンター」では、コークスを製造するための燃焼ガスを自動制御し、コークス炉全体の温度を最適な状態とすることで、使用燃料の削減およびCO₂排出を抑制しています。



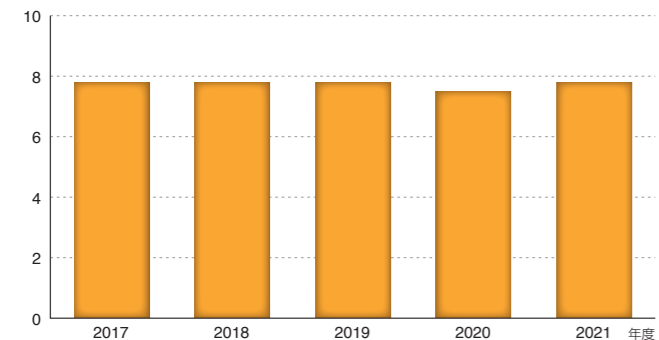
環境への取組み（関西熱化学環境負荷）

地球温暖化抑制

加古川工場では、コークスを製造するために設備で燃料や電気を使用しています。環境関連設備の増設などで消費

エネルギー使用量推移（加古川工場 試算値）

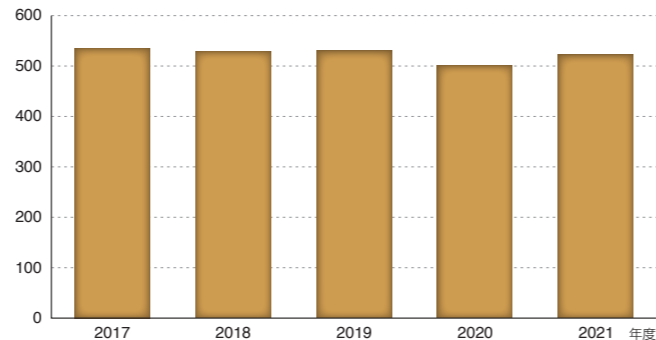
エネルギー使用量(百万GJ/年)



電力の増加要因はあるものの、エネルギー使用量の増加抑制に取り組んでいます。

CO₂排出量推移（加古川工場 試算値）

CO₂排出量(千t/年)

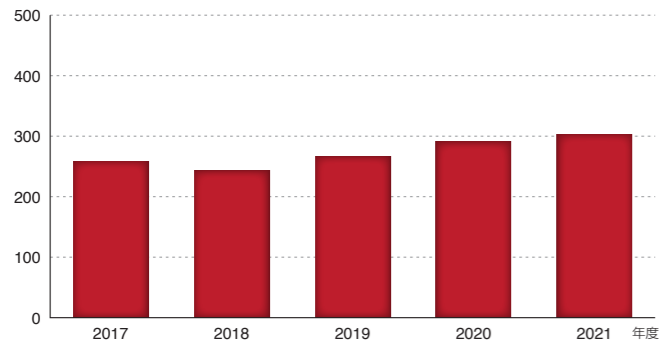


大気環境保全

加古川工場で、コークス製造に使用する燃料ガスには、硫黄分やアンモニア分等が含まれています。事前にガス中

SOx排出量推移（加古川）

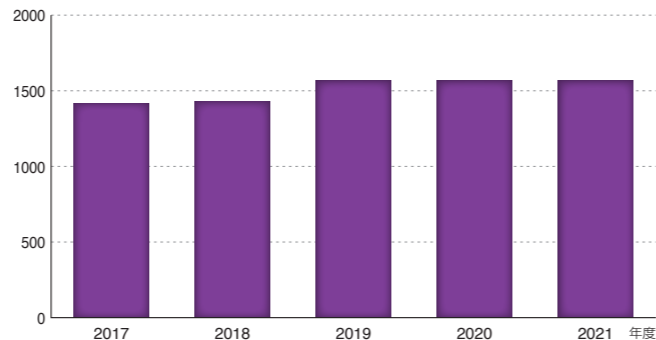
SOx排出量(t/年)



の硫黄分・アンモニア分等を除去するとともに燃焼管理を強化することで大気中への排出抑制を図っています。

NOx排出量推移（加古川）

NOx排出量(t/年)

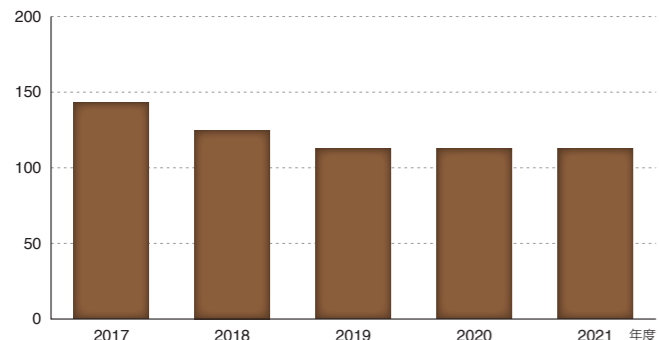


水環境保全

加古川工場内で発生した凝縮水には、フェノール等の有機物が含まれています。活性汚泥処理などの排水設備で適切な基準まで処理した後、海域に放流することで海域への負荷低減を図っています。

COD負荷量推移（加古川）

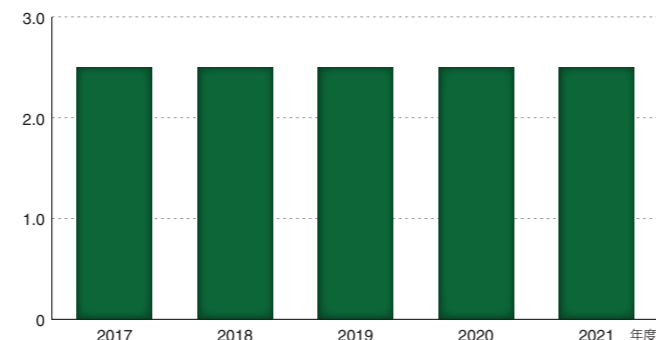
COD負荷量(t/年)



また、貯炭場等で散水に使用する水などは、工場内で一度使用した水を循環使用することで工業用水使用量の抑制を図っています。

排水量推移（加古川）

排水量(百万m³/年)

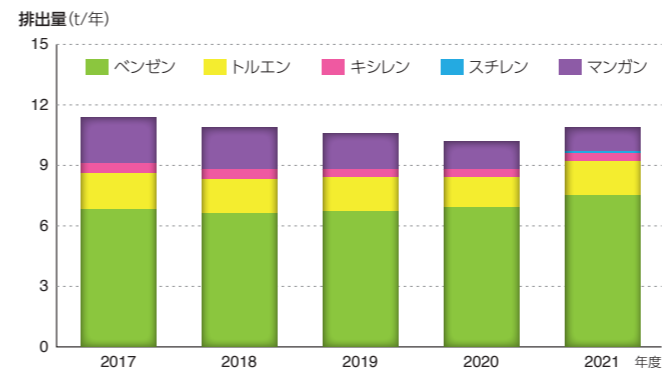


SOx(硫黄酸化物):	石油や石炭など硫黄分が含まれる燃料を燃焼させることにより発生する硫黄と酸素の化合物
NOx(窒素酸化物):	石炭や石油などの燃料中の窒素や空気中の窒素が高温燃焼時に酸化されて発生する窒素と酸素の化合物
COD(化学的酸素要求量):	水中に含まれる物質を酸化するために必要とする酸素量

化学物質適正管理

PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律）に従い、加古川工場でも対象となる物質について国に対して移動量と排出量の報告を行っています。

PRTR法対象物質排出量推移（加古川工場）



環境教育

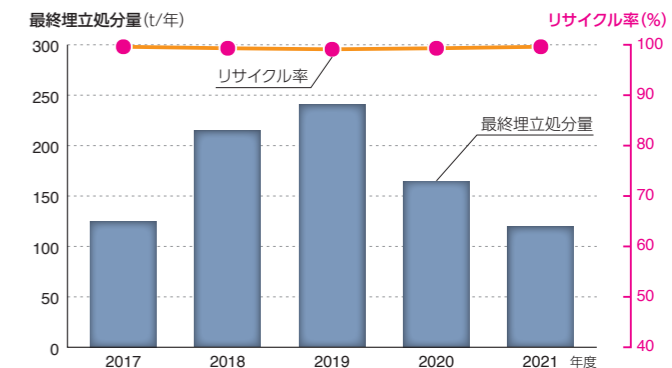
関西熱化学グループでは、6月の環境月間にあわせて、京都大学名誉教授藤原建紀先生を講師に招き、「豊かで美しい瀬戸内海に向けて一窒素・リンの削減から管理への転換」をテーマに環境講演会を開催しました。

【講演概要】 1990年代以降開始された窒素・リンの総量規制の結果、近年では、生活および産業系などの窒素量が大きく減少し、瀬戸内海の窒素不足、貧栄養化が顕著になった。その結果、生物量や生物多様性に悪影響がでていた。瀬戸内海環境保全特別措置法が改正され、兵庫県が全国に先駆けて窒素濃度下限値を設定し、窒素濃度の削減から管理へ方針が転換された。

廃棄物削減

加古川工場から排出される産業廃棄物は、民間の産業廃棄物処分業者に処分を委託しており、委託した廃棄物が適正に処分されていることを定期的に確認しています。2009年度からゼロエミッション（廃棄物の99%以上リサイクル）を継続しています。

産業廃棄物最終埋立処分量およびリサイクル率推移（加古川工場）



地球環境保全への取組み事例

関西熱化学グループでは、様々な活動を通して、環境保全に取り組んでいます。近年推進されている、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs) とも関わりがある活動事例をいくつか紹介します。

〈気候変動への取組み〉

- CO₂を排出しないエネルギー供給
2013年、広島県竹原市にメガソーラーを設置



〈水資源への取組み〉

- 安全な水の供給
安全で美味しい宅配水を供給



〈循環型社会への取組み〉

- オフィスでの環境経営への取組み
本社、研究部門の環境認証取得



安全への取り組み

関西熱化学グループでは、「安全なくして経営なし」の基本理念のもと、安全を最重点課題と位置付けています。各職場では、リスクアセスメントやヒヤリハットで、職場の潜在的な危険や危険要因を抽出し、対策を実施することでそれらを除去する活動を展開し、事故や災害などの未然防止を図っています。

労働安全

全従業員が労働安全衛生活動に参加して労働災害防止や再発防止対策に取組み、労働災害ゼロの達成を目指して活動しています。

安全への取り組み

加古川工場では、2021年度より、「まもる宣言」を掲げ、過去に発生した事故・トラブル再発防止対策の検証と見直し、工場従業員の危険予知能力向上等に取り組んでいます。全員がこの宣言を意識して、自分と仲間の身を守り、決めたことを確実に実施していくことで、毎日無災害を積み重ねていきます。

尼崎事業所では、グループ会社を含めたRC活動の推進役として、構内の事故防止のために構内交通ルールの指導やパトロールなどに取り組んでいます。

研究開発センターでは、教育方法の基準化やRCアンケートの活用による弱みの抽出、実験の安全性事前確認などに取り組んでいます。



保安防災

各職場における教育やパトロールの実施により事故防止に取り組むとともに、防災訓練などを実施して災害に対して迅速かつ安全に対処できるように努めています。

保安事故防止への取り組み

加古川工場では、10月の高圧ガス保安活動促進週間にあわせて、保安意識の高揚および保安活動の促進を図るために、外部講師による保安防災教育を実施しています。停電・復電後、保安事故を防止しかつ迅速に設備を立ち上げるために、製造部各課で合同停電復電処置訓練を実施しました。



製造各課合同停電復電処置訓練(加古川工場)

尼崎事業所では、保安事故の発生に繋がる不具合がないか、消防法や高圧ガス保安法の適用設備を対象としたパトロールを年3回実施しています。



保安防災訓練の実施

加古川工場では、保安事故が発生した場合、スムーズな消火活動とそれに伴う二次災害の防止を確実にするために、日頃から消防操法訓練や放水訓練を実施しています。2021年度は毎年実施している工場総合防災訓練に加え

て、社外の事業所とも連携して東播磨地区特別防災区域加古川・播磨協議会の総合防災訓練を実施しました。

尼崎事業所では、火災を想定した総合防災訓練と、地震・津波避難訓練を実施しました。



東播磨地区特別防災区域加古川・播磨協議会 総合防災訓練(加古川)



総合防災訓練(尼崎)

健康管理

関西熱化学グループでは、「社員は人財(たから)」であり、社員の健康管理を経営としての最重要課題の一つと考えています。社員の活力向上や生産向上などの効果に繋げる活動を実施しています。

衛生講演会の開催

関西熱化学グループでは、毎年、10月の全国労働衛生週間にあわせて、衛生講演会を開催しています。2021年度は理学療法士を講師に招き、『生活習慣からのプチストレスへのアドバイス』をテーマに、スマホやパソコン使用の習慣から起こる体の不調やストレスへの対策に加えて、生活習慣上での新型コロナウイルス感染症予防へのアドバイスがありました。



衛生講演会(尼崎)

フィジカルヘルスケア・メンタルヘルスケアへの取り組み

フィジカルヘルスケアの取り組みでは、健康診断結果をもとに、産業医・保健師による面談フォローを実施し、生活習慣病予防をサポートしています。また、禁煙日の設定等による継続的な禁煙支援に取り組んでいます。

メンタルヘルスケアの取り組みでは、自らのストレスコントロール手法を学ぶセルフケア研修、部下のメンタルヘルスケアや職場環境改善の手法を学ぶラインケア研修を毎年実施し、風通しのよい職場づくりに取り組んでいます。

健康経営優良法人認証取得

関西熱化学は、健康経営優良法人の認証を2018年度に初めて認証されてから5年連続して取得しています。



品質・化学品安全への取り組み

関西熱化学グループでは、顧客満足向上のため品質保証活動を実施しています。また、製品や取扱う化学物質等の適切な管理を行っています。

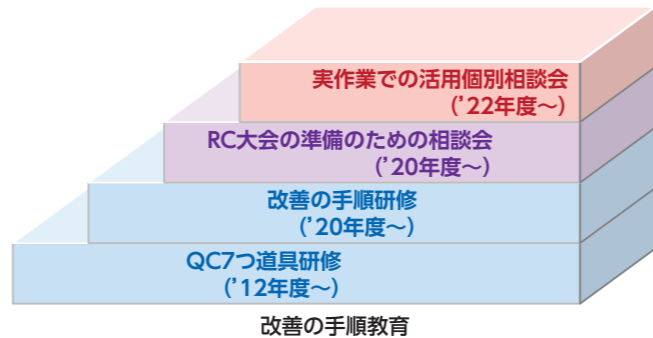
品質への取り組み

国際標準化機構 (ISO) が発行する国際規格である ISO9001 に基づく品質マネジメントシステムを構築し、製品の品質管理に努めています。また、品質マネジメントシステムに適合した管理がなされていることを確認するために、定期的に内部監査を行い、実施状況の点検と、必要に応じた是正を行っています。



QC7つ道具研修(尼崎)

また、従業員への教育として、従来から実施している「ISO研修」に加えて、「改善の手順研修」にも力を入れています。各職場での生産活動における問題を解決する能力を高めることで、製品の品質維持・向上に繋がっています。



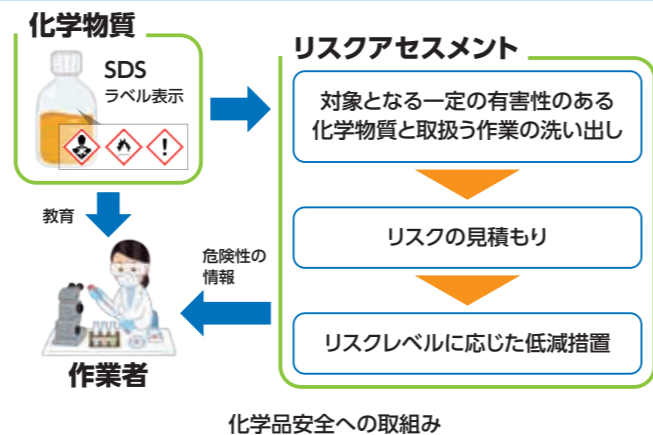
関西熱化学グループ マネジメントシステム認証取得状況

規格	認証取得場所
ISO9001 品質マネジメントシステム	関西熱化学(株) 加古川工場 (株)MCエパテック 本社 (ソフトウェア事業) *2、尼崎事業所、加古川事業所、つくば分析センター、四日市分析センター 大阪化成(株) 尼崎ユーティリティサービス(株)
ISO14001 環境マネジメントシステム	関西熱化学(株) 加古川工場 (株)MCエパテック 尼崎事業所、加古川事業所、つくば分析センター、四日市分析センター 大阪化成(株)
エコアクション21	関西熱化学(株) 本社、研究開発センター (株)MCエパテック 本社
ISO45001 安全マネジメントシステム	関西熱化学(株) 加古川工場 (株)MCエパテック 尼崎事業所、加古川事業所
ISO17025*1	(株)MCエパテック つくば分析センター

*1 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
*2 2022年7月 ISO認証の返上

化学品安全への取り組み

化学物質の取扱いについて定める種々の法律 (化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)、労働安全衛生法など) に従い、製品や取扱う化学物質についての SDS (Safety Data Sheet) を入手するとともに、リスクアセスメントを実施し、従事する作業員へ教育を行っています。一方、毒劇物などの盗難・紛失により悪用される恐れのある化学物質については、ガイドラインを設け、これに従った管理によってリスクを未然に防止しています。



化学品安全への取り組み

コンプライアンスへの取り組み

コンプライアンスは、法令遵守に加えて、社会的規範を遵守することです。コンプライアンスを守ることは、社会からの信頼を積み重ねることにつながるために、関西熱化学グループではコンプライアンスの推進に努めています。

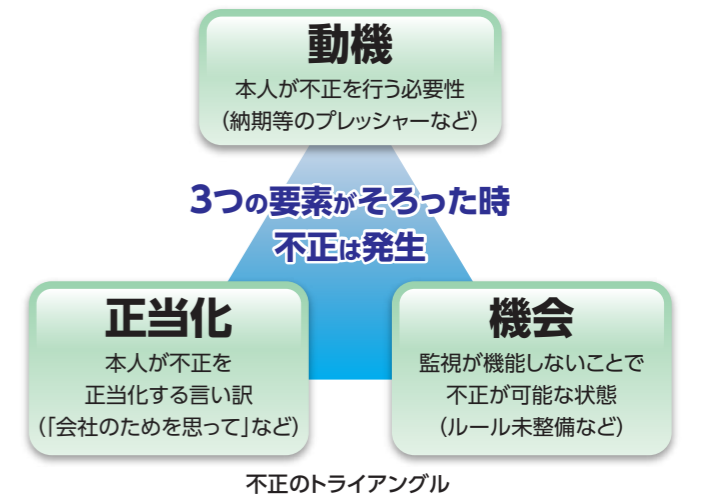
コンプライアンス推進プログラム

関西熱化学グループでは、「関西熱化学グループ企業倫理憲章」において倫理規範を定めています。企業倫理憲章を踏まえ、関西熱化学グループの構成員が日々の活動において守るべき事項を定めた「関西熱化学グループ・コンプライアンス行動規範」とコンプライアンスを推進する体制を定めた「コンプライアンス推進規程」などのコンプライアンス基本規程のほか、「関西熱化学コンプライアンス・ホットライン運用規則」などを整備し、その適切な運用・管理に努めています。

企業倫理憲章
1. 自覚・責任
2. 公正・公平・誠実
3. 遵法精神
4. 節度
5. 透明性・開放性

コンプライアンス推進活動

コンプライアンス違反等の不正が発生する理由を分析した代表的な理論として、「不正のトライアングル」という考え方があり、「動機」「正当化」「機会」の3つの要因が重なった場合に不正が発生するとされています。関西熱化学グループでは、「不正のトライアングル」を成立させないために、「動機」や「正当化」に対してはコンプライアンス教育を行い、不正を「しない風土」をつくること、そして「機会」には、ルールや手順書の作成など、不正が「できない仕組み」をつくることに取り組んでいます。



人権への取り組み

関西熱化学グループでは、「人権意識を高め、人々の多様性を尊重し、社会から認められる、心豊かな企業集団を目指す」という基本方針のもと、従業員一人ひとりの人権意識を高める活動に取り組んでいます。2021年度は、職場における人権活動が定着していくように、社員全員を対象に「人権について考える」というテーマで研修を実施しました。

また、加古川市企業人権・同和教育協議会 (企同協) が、人権活動の推進と人権意識の高揚を目指して募集した「キャッチコピー」・「ロゴマーク」に、社内優秀作品の中から、計15作品を企同協別府ブロックに推薦提出しました。

2021年度優秀作品キャッチコピー

No.	作品
1	笑わないよ 君のこと だって そこが君のいいところ
2	「気づいて」と言えない人が 隣にいるよ 勇気出して 向き合って。
3	軽い気持ちでいう前に 一旦停止で考える 心と心の交差点
4	育てよう 一人ひとりの思いやり みんなで作ろう 笑顔の職場
5	コロナ対策だけじゃうで！ 扉を開けて心の喚起。
6	SNS 見えない向こうの深いキズ
7	思いやり 教える心とみんなの笑顔 あなたが変わればみんなも変わる
8	あなたとわたしの違うとこ 認めることで生まれる興和 共に生きよう繋がる社会
9	個性はその人のカラー 比べるよりも 並べて尊重 彩りある社会
10	困っている人を見放さず 差し伸べよう救いの手



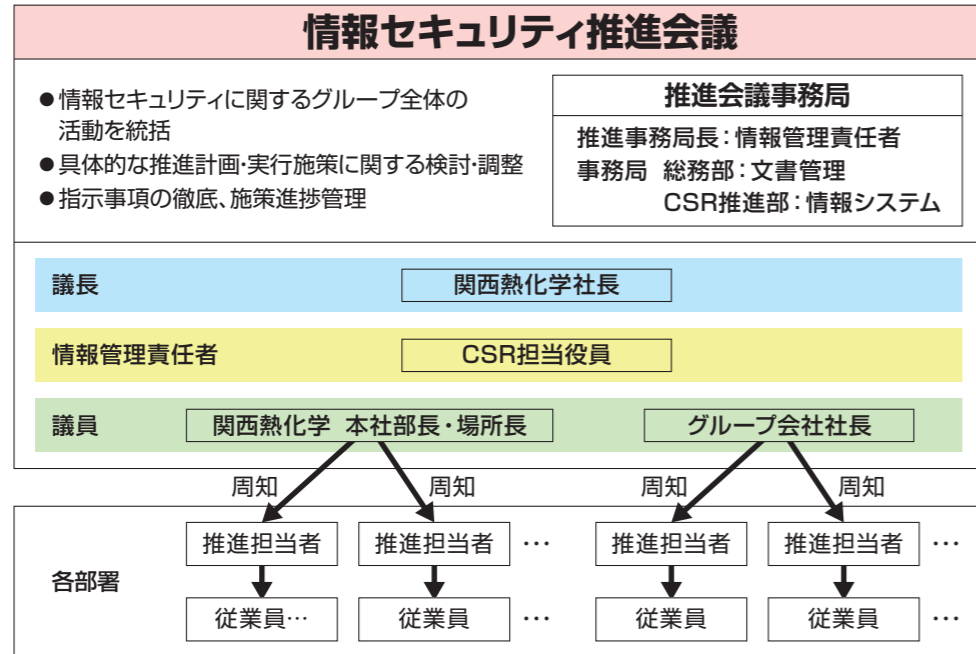
2021年度優秀作品 ロゴマーク(5作品)

情報セキュリティへの取り組み

企業には多くの情報資産が存在し、IT(情報技術)の普及に伴い情報資産の価値は、ますます高まっています。重要な情報資産を守るため関西熱化学グループでは、様々な「情報セキュリティ」対策に取り組んでいます。

情報セキュリティ推進体制

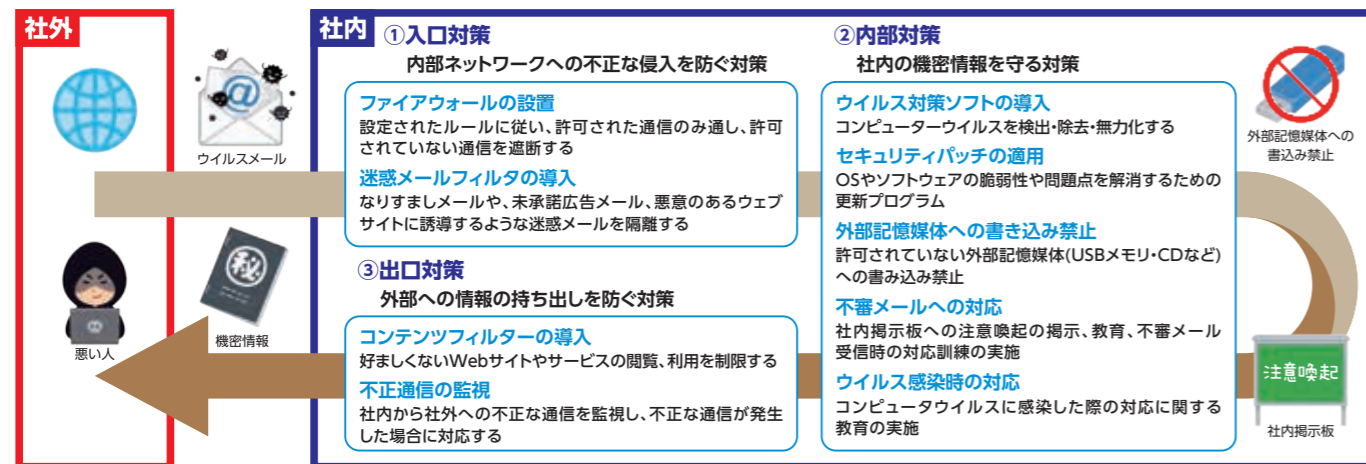
関西熱化学グループは、情報セキュリティの強化を図るため関西熱化学社長を議長とする「情報セキュリティ推進会議」を設置、本会議で決定された情報セキュリティ対策は、各部署の推進担当者を通じて全従業員へ周知されています。



関西熱化学グループ 情報セキュリティ推進体制

情報システムセキュリティにおける対策

関西熱化学グループで日常業務に利用している情報システム機器は、多くのリスクに対して、社内の「入口」・「内部」・「出口」などに様々な技術的対策の導入を行っています。



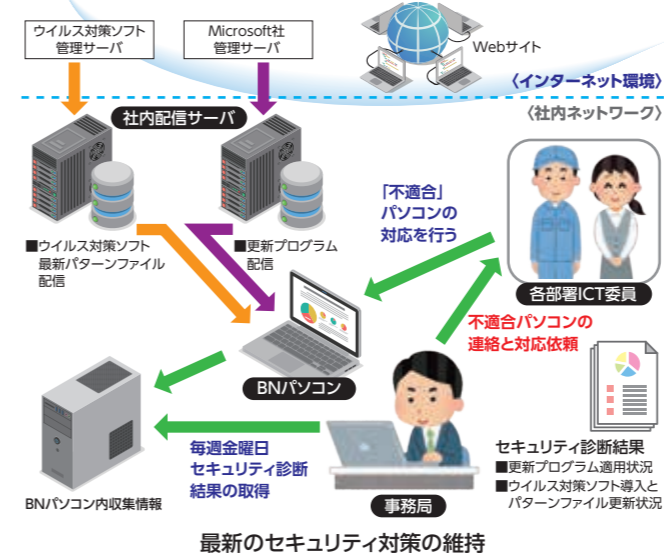
情報システムセキュリティ対策

- パターンファイル:** 過去に検出されたコンピュータウイルスの情報が載っているファイル。パターンファイル内のウイルス情報と一致するとウイルスと判定される。
- 更新プログラム:** コンピュータのOS(オペレーティングシステム)やソフトウェアに不具合が見つかった時に、不具合を修正するために配布されるプログラム。
- 脆弱性:** コンピュータのOSやソフトウェアにおいて、プログラムの不具合や設計上のミスが原因となって発生した情報セキュリティ上の欠陥のこと。放置すると悪意のある攻撃によって被害を受ける可能性が高くなる。

セキュリティ診断情報の活用

パソコンに導入されているウイルス対策ソフトのパターンファイルを最新に保つこと、パソコンに必要な更新プログラムが適用されていることは、情報システムセキュリティ対策において、非常に重要です。

関西熱化学グループでは、利用者全員のパソコンに関するパターンファイル更新状況や更新プログラムの適用状況を確認し、最新のセキュリティ対策を維持しています。



情報セキュリティ教育・訓練

技術的な対策だけでは、十分な情報セキュリティ対策とは言えず、情報システムを利用する従業員の意識向上が重要です。関西熱化学グループでは、情報セキュリティに関する理解度の確認と更なる向上を目的として、全従業員を対象として、情報セキュリティ教育を実施しています。

また、年々巧妙化する「標的型攻撃メール」によるウイルス感染から情報漏洩を起こさないように、疑似的に訓練メールを送付する「標的型攻撃メール訓練」を実施し、「不審メール」の見分け方や「不審メール」受信時の連絡・対応手順を学習しています。



情報セキュリティ教育 (加古川)

リスク管理の取り組み

関西熱化学グループでは、リスク管理を経営の重要課題と位置づけています。事業のリスクは、自然災害や保安事故、環境トラブル、感染症の大流行等多岐にわたります。リスクを定量的に把握し、仕組みに基づいた管理を実施することで、重大な危機や非常事態の発生の未然防止、企業活動への影響の最小化に努めています。

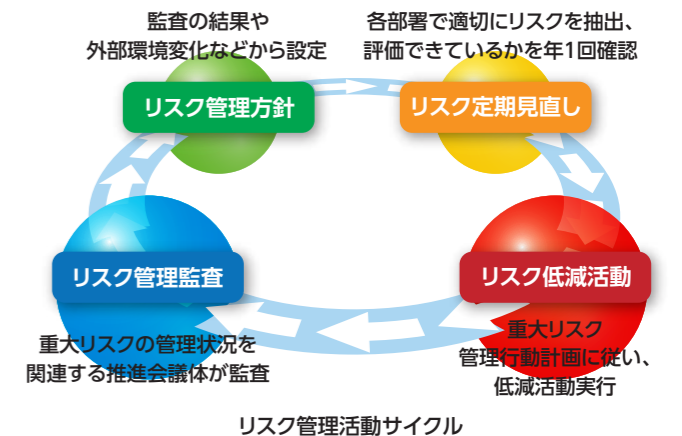
リスク管理活動

関西熱化学グループのリスク管理方針に従い、各部署で事業リスクの抽出、評価、対応策の検討を行い、リスク低減活動を行っています。

重大なリスクについては、リスク管理委員会にて、対策の実行状況を管理しています。また、各部署で抽出されたリスク評価や対策の妥当性については、リスクの種類ごとに関連する推進会議体による監査等により確認され、その結果に基づき、リスク管理委員会にて次年度のリスク管理方針が決定されます。

2021年度リスク管理方針

- ① リスク顕在化に至る想定シナリオを明確化した対策の策定
- ② リスクの対策維持及び再検証
- ③ リスク管理意識の浸透



事業継続計画

関西熱化学グループでは、地震などの大規模災害の発生や新型コロナウイルスの大流行に対して適切な対応を行うことで事業活動への影響を最小限にとどめるための事業継続計画

(BCP: Business Continuity Plan) を策定し、運用・見直しを実施しています。

社会とのコミュニケーション

関西熱化学グループでは、地域との共存を目的に様々な場面で地域イベントへの参加や地域ボランティア活動への協賛などを通じ、地域社会へ貢献する活動を行っています。

保育所ボランティア清掃

尼崎市立杭瀬保育所でボランティア活動を実施しました。当日は精鋭8名が参加し、暑い日ではありませんでしたが、



ボランティア活動・保育所清掃の様子

後日、保育所の子供達から御礼の手紙と折り紙が到着し、心がほっこりしました。今後も地域貢献活動及び次世代育



ボランティア活動・保育所清掃(子供達からの御礼の手紙と折り紙)

汗だくになり子供達の遊び場スペース確保のための草木伐採を主に行いました。



ボランティア活動参加者

成支援活動の一環として保育所ボランティア活動を継続していきます。

地域ボランティア清掃

神戸製鋼所加古川製鉄所北側に位置する道路を神鋼グループ関係会社で毎月1回一斉に清掃活動を実施しています。加古川工場からも参加し、運河沿いを清掃しました。



神鋼加古川クリーンアップ一斉活動

また、加古川工場、尼崎事業所、本社の周辺でも清掃活動を実施しました。



神鋼加古川クリーンアップ一斉活動

市民スポーツ振興への賛助

加古川市で開催されるレガッタの運営を円滑に行うため、体育班が中心になり、レガッタの審判団などとして協力し

ています。今年も「Head Of The Kakogawa 2021」では大会審判として協力しました。

環境学習教室開催

河川水の採水・分析・考察などの体験を通じて環境問題に関心を持ってもらうよう、MCエバテック 分析事業部 熊

本分析センターは地域の中学生を対象に、毎年夏休みを利用し開催しています。



実験室での分析状況サンプル分取



採水及び透視度測定



川について学ぼう 資料説明

MCエバテック 分析事業部 熊本分析センターの取り組みが、熊本県宇土市の「広報うと」に掲載されました。



『2021年8月27日(金)、株式会社MCエバテック分析事業部熊本センターが環境学習教室を開催しました。これは、地域の環境問題に関心を持ってもらおうと15年以上続けている取り組みで、今年は鶴城中学校の生徒3人が参加しました。生徒たちは、午前中に船場川の上・中・下流の3地点で採水し、水温や透明度などの簡易調査を行いました。午後からは、MCエバテック分析事業部熊本センターで水素イオン濃度や水の汚れ具合、水に含まれる酸素量などを詳しく測定しました。生徒たちは、同じ川でも上・中・下流の水質が大きく違うことに驚いていました。』(「広報うと」2021年10月号)

「広報うと」の表紙

「ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸」への支援

MCエバテックは、創立10周年の節目に社会貢献活動として、兵庫県立こども病院に併設されている「ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸」への寄付を行いました。また施設の食堂に無償でアクアクララのサーバーを設置し、アクアクララ六甲の水を提供しています。兵庫県立こども病院は神戸ポートアイランドにあり、小児がん・心臓病・難治性アレルギーといった難病を抱える小児が、近畿に限らず全国から入院しています。

ドナルド・マクドナルド・ハウスは、遠隔地から通院・入院する患者家族がわずかな経済的負担で宿泊滞在できる施設です。現在、全国に11箇所あり、病院に隣接しすぐ病院へ行ける距離に建てられています。100%が寄付と様々な支援によって運営されています。

全国のマクドナルドにも募金箱が設置されており、個人でも支援が可能です。MCエバテックは今後も神戸ハウスの運営を支援していけるよう、毎年の寄付と水の提供を継続します。



寄付をするMCエバテック草野社長



ドナルド・マクドナルド クラウンオブジェと記念撮影

グループ会社のRC活動への取り組み

株式会社MCエバテック

代表者	草野 晋平 (くさの しんぺい)	
組織	本社	兵庫県尼崎市潮江1丁目2番6号 JRE尼崎フロントビル8階
	尼崎事業所	兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番地
	加古川事業所	兵庫県加古川市金沢町7番地
	つくば分析センター	茨城県つくば市観音台一丁目25番地14
	四日市分析センター	三重県四日市市大治田3-3-17
	大阪茨木分析センター	大阪府茨木市室山2丁目13番1号
	熊本分析センター	熊本県宇土市北段原町230番地
	設立	2011年10月 (カーボンテック(株)・ケイエヌエンタープライズ(株)・(株)ケイエヌラボアナリシス3社合併)
資本金	2億8000万円	
事業内容	炭素材事業、精密洗浄事業、分析事業、総合サービス事業 (不動産業、飲食業、澱粉詰め替え)、アクアクララ六甲事業	
主製品・用途	炭素材、精密洗浄、分析、食用澱粉リパック、アクアクララ六甲、飲食施設、不動産賃貸	
環境関連技術	●炭素材事業	キャパシタ用活性炭製造技術(蓄電デバイス用部材供給による省エネ貢献) 使用済活性炭の再生利用(活性炭再生技術)
	●精密洗浄事業	半導体・フラットパネルディスプレイ関連装置の精密洗浄 (装置部品の再生利用技術・除膜剥離物の再資源化)
	●分析事業	環境分析技術：大気分析、水分析、騒音測定、振動測定、作業環境測定等 環境調査・コンサル：環境アセスメント対応、土壌分析等 VOC分析技術：住空間(居室内、車室内など)の揮発性有機化合物分析
	●総合サービス事業	不動産事業：遊休地を利用した太陽光発電 澱粉詰め替え事業：澱粉詰替及び保管時のフードディフェンス
	●アクアクララ六甲事業	宅配水のリターナブルボトル
マネジメントシステム	ISO9001 (品質)	炭素材事業、尼崎事業所、加古川事業所、四日市分析センター、つくば分析センター
	ISO14001 (環境)	尼崎事業所、加古川事業所、四日市分析センター、つくば分析センター
	ISO45001 (安全)	尼崎事業所、加古川事業所
	ISO17025 (試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項)	つくば分析センター
ホームページ	https://www.mcet.co.jp/	

企業理念

「わたくしたちは、

**高機能炭素材、
高度な化学技術、
地域と生活に密着したサービス**

を提供することにより、人々から信頼され、
人々と共生しながら、進化し続けます。」

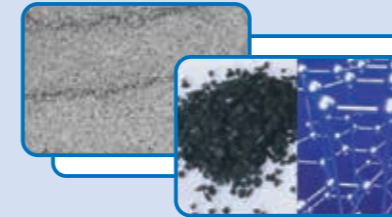


創立10周年とそれぞれの事業について

当社は、2021年10月に創立10周年を迎えました。
2011年10月に関西熱化学グループ3社である、カーボンテック社、ケイエヌラボアナリシス社、ケイエヌエンタープライズ社の合併により発足しました。その後、分析事業において、2013年10月にはつくば・四日市に新たな事業

拠点を設置し、さらに2020年10月には大阪茨木、熊本が新たな事業拠点として加わる等して、事業規模を拡大しました。お客様にとって大切な環境・健康・安全を支えるサービスを提供しています。

MCエバテック



【炭素材】

「水蒸気賦活性炭」や「アルカリ賦活法による高機能活性炭」や「活性炭繊維」などの製品を開発・製造しています。

【精密洗浄】

素材を傷めずに付着物だけを除去する「地球と素材に優しい最適洗浄」の技術で、半導体・製造装置の安定稼働を支援します。



【分析】

様々な産業分野に柔軟に対応できる多彩な分析技術と豊富なノウハウで、お客様の課題解決をサポートします。

【食用澱粉リパック】

澱粉メーカーの委託を受けて、海外・国内の食用澱粉を超音波振動機(ふるい)に通すことにより、安心できる状態にしてリパックしています。



【アクアクララ六甲】

お客様の信頼を第一に、自社で製造した安全でおいしいお水を、ご家庭やオフィスにお届けしています。

【飲食施設】

尼崎武庫川河畔の割烹「甲武荘」、加古川新野辺の食事処「しのべクラブ」を運営しており、四季折々のお料理と厳選したお酒、心をこめたおもてなしを提供しています。



【不動産賃貸】

賃貸マンション「レジェンダリー」を展開する他、社員寮、事業用土地、月極駐車場などを運営・管理しています。

大阪化成株式会社

代表者	安丸 純一 (やすまる じゅんいち)
組織	本社 大阪府大阪市西淀川区中島2丁6番11号 営業部 大阪市中央区伏見町4丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル7階
設立	1946年4月
資本金	6000万円
事業内容	炭素製品事業、生活環境製品事業、特薬事業、評価試験受託業務
主製品・用途	抗菌成分、防ダニ加工剤、防菌・防カビ・抗ウイルス加工剤、畜舎用衛生剤
環境関連技術	●薬用ハンドソープ用途の殺菌剤の製造 (抗菌剤製造技術) ●繊維用抗菌加工剤・抗ウイルス加工剤・防カビ加工剤の製造 (抗菌剤・抗ウイルス剤・防カビ剤製造技術) ●防ダニ・防虫加工剤の製造 (忌避剤製造技術) ●動物用消毒・殺菌・殺虫剤の製造 (動物医薬品製造技術)
マネジメントシステム	ISO9001 (品質) ISO14001 (環境)
ホームページ	https://www.osaka-kasei.co.jp/

行動規範

- 「私たちは互いを尊重し協力して
人と社会のコンディションを良く保つ技術とサービスを提供し続けます」
- 「私たちは社会の一員としてその活動が一流で選ばれる企業となるように努力し続けます」
- 「私たちは地球と社会に感謝し、
私たちの暮らしが持続的であるように環境負荷低減の努力を続けていきます」

社会・生活の中での活用

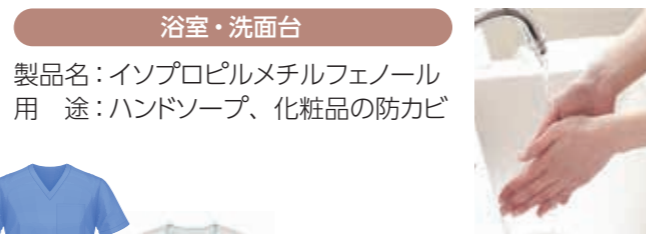
幅広く提供している生活環境品は、皆さんの身の回りにあるものに使われています。

『イソプロピルメチルフェノール』

ハンドソープ、歯磨き剤、制汗剤、化粧品、シャンプー、医薬品などに殺菌有効成分や防腐剤として配合されています。

『マルカサイド』シリーズ

衣類の抗菌・防カビ、寝装・寝具の防ダニ・抗菌、カーペットの防ダニ・抗菌・防カビ、エアコンフィルターの防カビ加工や掃除機用紙パックの抗菌加工などに利用されています。



浴室・洗面台

製品名：イソプロピルメチルフェノール
用途：ハンドソープ、化粧品の防カビ



衣類

製品名：マルカサイド YP-DP
用途：衣類の抗菌、防カビ



掃除機

製品名：マルカサイド YP-PP
用途：掃除機用紙パックの抗菌加工



寝具

製品名：マルカサイド NK17、
マルカタキノ SG、
P-4000 + マルカサイド YP-PP
用途：寝装・寝具の防ダニ・抗菌



カーペット

製品名：マルカサイド ES-PP、
マルカサイド YP-PP、
マルカサイド DM-PP
用途：カーペットの防ダニ・抗菌・防カビ

尼崎ユーティリティサービス株式会社

代表者	井上 朋彦 (いのうえ ともひこ)
組織	本社 兵庫県尼崎市大浜町2丁目30番
設立	1993年10月
資本金	1億円
事業	自家発電事業、余剰電力の販売、蒸気の製造・販売、軟水および純水の製造・販売、窒素の製造・販売、水素の製造に関する業務
主製品・用途	電力、蒸気、窒素等の製造販売、総合エネルギー供給
環境関連技術	●高効率ガスタービンコージェネレーション発電 (発電設備運転技術) ●低圧蒸気を活用した「スチームスター」による発電 (発電設備運転技術)
認証	品質マネジメントシステム ISO9001

ミッション

「お客様のベストパートナーとしてユーティリティの安定供給と安定利益の確保」

創業以来の無災害10,000日達成

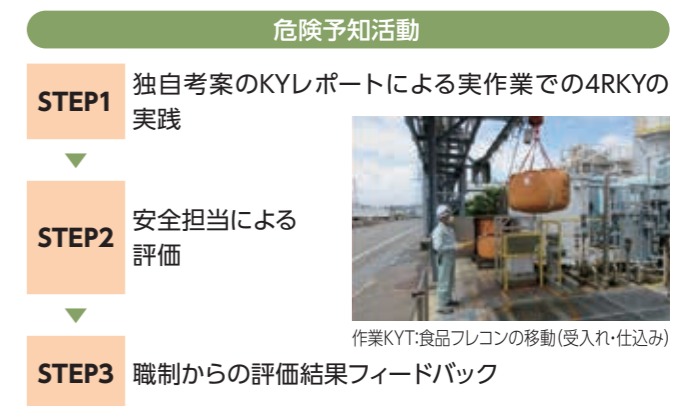
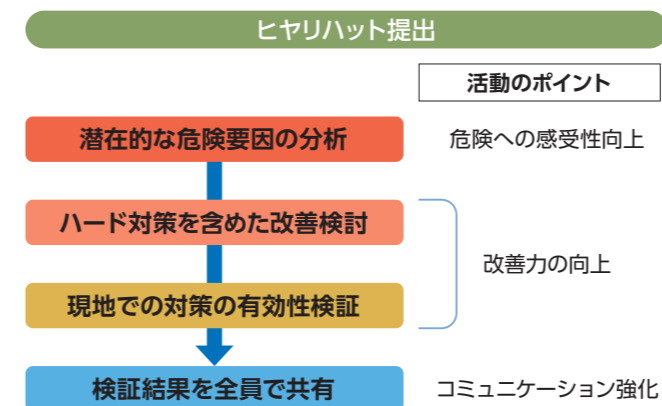
1994年の創業開始以来、2021年10月17日に無災害記録10,000日を達成しました。この記録達成は、創業開始から安全職場を築いてきた諸先輩方の並々ならぬ努力と、従業員一人一人が高い安全意識で尼崎ユーティリティサービス (AUS) 独自のRC活動を実践に取り組み、安全最優先を徹底してきた成果です。



無災害10,000日達成記念撮影

AUS独自の安全活動の仕組み

- 定期的な各種安全パトロール
 - 積極的なヒヤリハットの提出
 - 危険予知活動
- 個人健康管理目標の実践 等



お問い合わせ先

関西熱化学株式会社 RC推進会議事務局

TEL : 06-4300-5366 (CSR推進部)

FAX : 06-6491-9681



この印刷物は環境への配慮のため、世界の森林資源の責任ある利用を保証している「FSC®認証紙」、および植物油インキを使用しています。

表紙について

希望に満ちた未来を拓くため
明るく 元気に 前向きに 共に進む
この思いを表紙にデザインしました。